



(株)セブン&アイ・ホールディングス

グループ会社

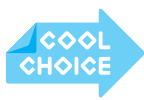
(株)そごう・西武、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨークベニマル、(株)ヨークマート、
(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行、(株)セブン・カードサービス、(株)セブン&アイ・ネットメディア、
(株)ニッセンホールディングス、(株)ロフト、(株)赤ちゃん本舗、(株)オッシュマンズ・ジャパン、ほか

株式会社 そごう・西武

〈お問い合わせ先〉
CSR・CSV推進室
郵便番号 102-0084 東京都千代田区二番町5番地25
二番町センタービル
電話番号 03-6272-7409 FAX 03-6272-7129



(株)そごう・西武のCSR活動
<http://www.sogo-seibu.co.jp/csr.html>



未来のために、いま選ぼう。

本冊子は、見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

2016年10月発行



環境・社会貢献の取り組み
2016-2017

Environmental and social contribution initiatives 2016-2017

地域を支える チカラになりたい





地元企業と一緒に商品を開発して 伝統技術の魅力を広めたい



商品部 SPA開発部 マーチャンタクト
小島 進一

伝統技術には、各地域の環境から生まれた知恵が凝縮されています。当社の自主商品ブランド「リミテッド エディション エリアモード」は、そうした伝統技術をもつ地元企業の皆さまのご協力で実現しました。徳島の藍染をはじめ、日本には素晴らしい伝統技術や資源がたくさんあります。今後も地域の魅力を広く伝える商品を開発し、地域活性化に貢献していきます。

徳島の伝統技術「藍染」を
もっと手軽に楽しんでもらいたいです。



藍染のコートやストールを
地元企業さまと共同開発



1



2



3

- 1:藍の状態を把握するため素手で作業
- 2:地元企業「(株)トータス」の方々
- 3:完全無農薬で栽培されている藍

地域の伝統や技術を伝える 「リミテッド エディション エリアモード」

そごう徳島店では、徳島の伝統技術「藍染」をクローズアップ。植物由来で無農薬栽培の藍染料を使い、試行錯誤を重ねて生み出した方法で染めた、人にも環境にもやさしい“安全・安心な商品”です。地方店発の自主商品ブランド「リミテッド エディション エリアモード」は、地域と一体になった地方創生の取り組みとして、お客さまからも高いご支持をいただいています。

地域を支える
チカラになりたい



全国 14店舗
(2016年10月現在)

「リミテッド エディション エリアモード」は、経済産業省中小企業庁が推進する「ふるさと名物応援事業」の補助金交付に採択されました。

特集

自治体とともに



ご高齢の方が安心して暮らせる街づくりに貢献したい！



増田 俊一

2025年には約700万人になると見込まれている「認知症」。地域の皆さまのご理解とご協力は、認知症の方が生活を送られるうえで、大きな支えとなります。すべての皆さまが安心して生活できる社会を目指し、私たちからも活動の輪を広げていきたいと思ひます。

西武・そごう所属の
認知症サポーター
約3,000名
(2016年8月末現在)



3



1



2

- 1:目標は、社員全員の資格取得
- 2:正しい知識をしっかり吸収
- 3:日々の接客に生かすためのロールプレー



認知症の方やそのご家族に
もっと安心していただきたいから

全店舗で認知症サポーターの養成を推進

高齢化社会が進むなか、認知症のお客さまやご家族の方にも安心してお買い物を楽しんでいただけるよう、全店舗で認知症サポーター養成講座を開催しています。これは認知症に関する知識を学び、接客時などに適切な対応を取れるようにするもので、2016年8月末現在、西武・そごう所属のサポーターは約3,000名にのぼります。



認知症サポーターの目印として従業員はバッジやオレンジリングを身に着けています



5

サステナブルな百貨店に向けて 5つの取り組み

西武・そごうは、 持続可能な社会づくりに 取り組んでいます

西武・そごうは、“サステナブルな百貨店”を目指し、セブン&アイグループで推進している「5つの重点課題」の解決に取り組んでいます。

取り組み 1 高齢化・人口減少への対応 ▶P.7

少子高齢化が進むなか、誰もが安心して生活できる社会を目指し、さまざまなサービスを展開しています。



取り組み 3 省エネ・省資源の追求 ▶P.9

お客さまや地域の皆さまとともに、商品やイベントを通じて地球環境の保全を推進しています。



取り組み 5 ともに取り組む エンシカル社会

3 みんなのやさしさ、 つなぎたい。 3つの社会貢献 に取り組んでいます

植樹・育樹活動 ▶P.14

お客さまにご協力いただきながら、森林再生と地域振興につながる植樹・育樹活動に積極的に取り組んでいます。



途上国支援活動 ▶P.15

お客さまからお預かりしたご使用にならなくなった子ども靴を、ザンビアの子どもたちに贈る活動を推進しています。



盲導犬育成支援活動 ▶P.16

盲導犬の育成支援に取り組むとともに、盲導犬・視覚に障がいのある方に対するご理解を広める活動をしています。



セブン&アイグループの 重点課題

社会インフラとして、すべての人が安心して便利にお買物できる社会を実現します

商品、原材料、エネルギーの無駄を省き、地球環境の保全に貢献します

お客様やお取引先を巻き込んだエンシカルな社会づくりに取り組みます

商品や店舗を通して、安全・安心を提供します

性別、年齢にかかわらず、すべての人が活躍できる社会づくりを支援します

取り組み 2 商品や店舗を通じた安全・安心 ▶P.8

人と環境にやさしい商品や万が一の時にもご安心いただける店舗づくりを行っています。



取り組み 4 女性・若者・高齢者の活躍支援 ▶P.13

育児と仕事の両立や、働きやすくてやりがいのある仕事を通じて、女性や若者の活躍を応援しています。



取り組み 1 高齢化・人口減少への対応

少子高齢化が進むなか、誰もが安心して生活できる社会を目指し、さまざまなサービスを展開しています。

■お客さまに代わってお買い物、ご自宅までお届けする「御用聞きサービス」

お弁当一つから、食料品、衣料品、化粧品、さらにはインテリアに至るまで、お店にある商品のお買い物を代行する「御用聞きサービス」を13店舗で実施しています。お買い物に出かけることができないご高齢の方や介護・子育て中のお客さまなどからご好評をいただいています。



商品のお買い物を代行する「御用聞きサービス」

■初めてのママを応援「プレママステーション」



出産・育児を応援する「プレママステーション」

初めての出産・育児を応援する「プレママステーション」。「何を準備したらいいのかわからない」「育児について周りに相談できる人がいない」、そんな初めてのママならではの不安や悩みを常駐の助産師がアドバイスいたします。また、親子で楽しめるイベントも開催しています。

取り組み 2 商品や店舗を通じた安全・安心

人と環境にやさしい商品や万が一の時にもご安心いただける店舗づくりを行っています。

■お客さまと地球環境に配慮した「オーガニックベビーウエア」

赤ちゃんの肌をやさしく包むオーガニックコットン100%のベビーウエア。この商品は、「お客さまと地球環境のために安全・安心をお届けしたい」と願って、企画から生産まで自主開発にこだわり“メイドインジャパン”を貫きました。



オーガニックコットンを使用したベビーウエアや雑貨を販売している「リミテッド エディション」

■大規模災害への備え「防災訓練」



防災訓練の様子



多くのお客さまにご来店いただいている百貨店は、安心できる店内環境の維持と安全対策が重要です。特に、大規模災害では、速やかな避難誘導をはじめ、帰宅困難者への対応も必要となります。西武・そごうでは、地域とも連携し、すべての従業員が「災害からお客さまを必ず守る」という強い思いのもと、定期的な訓練に励んでいます。

3 取り組み 省エネ・省資源の追求

お客さまや地域の皆さまとともに、
商品やイベントを通じて地球環境の保全を推進しています。

■ 環境方針

基本理念

私たちは、企業市民として社会的責任を自覚し、環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客さまやお取引先、地域とともに、「次世代に続く豊かな暮らしづくり」に取り組みます。

行動指針

1. 私たち自身の環境保全活動に加え、当社の事業活動を通じて、お客さまやお取引先の活動にも良い環境影響を及ぼすように努めます。
2. ① 環境に配慮した品ぞろえやイベント、セミナーなどを通じたお客さまとのコミュニケーション強化
② 社会貢献活動などを通じた地域、社会とのコミュニケーション強化
③ 地球温暖化防止対策や廃棄物の削減、リサイクルの推進などによる環境負荷の低減と環境保全の推進
④ 環境教育の継続による法令順守とリスクマネジメントの徹底
以上の活動を重点に、仕組みや手法の継続的な改善に取り組みます。
3. 従業員に対する継続的な教育と啓発活動を行い、一人ひとりが環境や社会問題に自発的に取り組むことにより、お客さまや地域社会に役立ち、信頼される企業を目指します。
4. 挑戦的な目標を設定し、一人ひとりが達成に向けた活動を実践しながら、結果の検証と改善を繰り返し、システムの向上を心がけます。

この環境方針は、従業員と当社のために働く全ての人に周知するとともに、一般の方々にも公開します。

2016年10月6日
株式会社そごう・西武
代表取締役社長 林 拓二

■ ISO14001に基づき環境マネジメントを推進

(株)そごう・西武は、1999年に西武全店で百貨店業として初めて環境に関する国際規格ISO14001の認証を取得しました。その後、2011年にはそごう全店に拡大し、現在は西武・そごう全店および全事業所で認証を取得しています。2016年2月にはISO14001/2015年版への移行を完了したほか、各店・各事業所で環境・社会貢献委員会を組織。社長が宣言した環境方針の達成に向け「次世代に続く豊かな暮らしづくり」に取り組んでいます。



ISO14001認定証

■ 地球のために“賢い選択”「クールチョイス」を展開

CO₂を削減し、地球のために“賢い選択”を促す国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」。

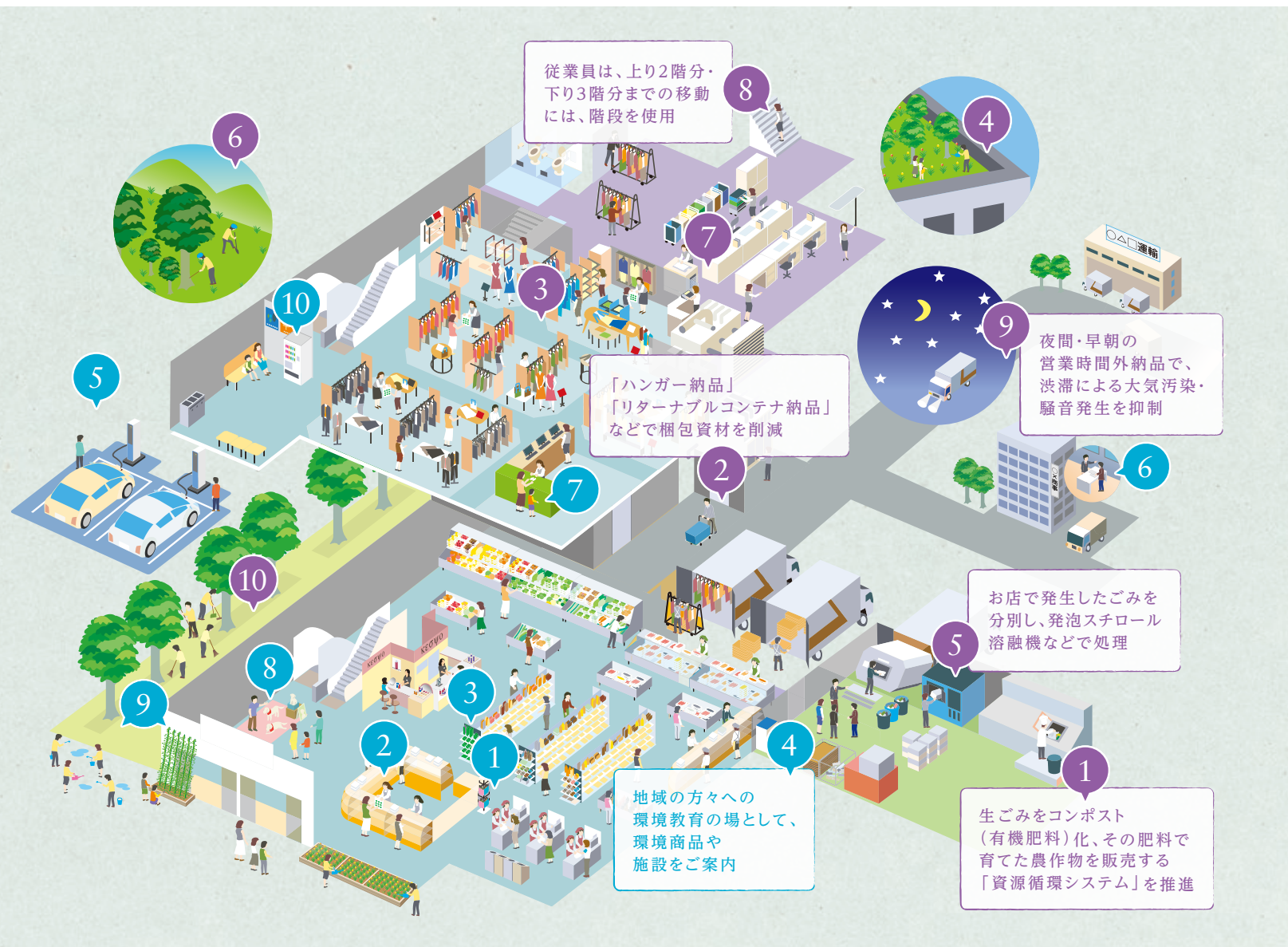
西武・そごうでは、食品レジ袋への印字やご案内にロゴマークを入れることで、CO₂を削減する地球にやさしいライフスタイルをご提案しています。また、環境省「COOL CHOICE推進に関する審議会」にも参画。お客さまや行政機関などとともに商品やイベントを通じ、「低炭素なライフスタイルの選択」をご提案していきます。



食品レジ袋に印字したロゴマーク



環境省「COOL CHOICE推進に関する審議会」



お客さまとの取り組み

- ① オリジナルエコバッグの製作・販売
- ② グリーンラッピング(環境配慮包装)
- ③ 環境配慮商品の販売
- ④ 店内エコ見学会
- ⑤ 電気自動車用充電器設置(駐車場)
- ⑥ 環境に配慮したユニフォームや防災用品の提案
- ⑦ 常設「こども靴 下取りコーナー」(国際貢献)
- ⑧ 盲導犬育成支援(募金箱・理解促進イベント)
- ⑨ 打ち水やグリーンカーテンのイベント開催
- ⑩ 途上国支援寄付金付き飲料自動販売機

従業員による取り組み

- ① コンポスト機による生ごみの肥料化
- ② 納品時の梱包資材削減
- ③ LED照明の導入
- ④ 屋上緑化と壁面緑化
- ⑤ エコステーション(ごみの分別とリサイクル)
- ⑥ グループ挙げての森林整備と間伐材の活用(名刺・リサイクルボックス等)
- ⑦ 再生資源の活用(コピー用紙、包装紙、制服等)
- ⑧ 階段の2up3down
- ⑨ 営業時間外を利用した効率的な納品
- ⑩ 定期的に店舗周辺の地域清掃を実施

4

取り組み

女性・若者・高齢者の活躍支援

育児と仕事の両立や、働きやすくやりがいのある仕事を通じて、女性や若者の活躍を応援しています。

■心地良い売場と従業員の活躍を支える「ワークスタイルプロジェクト」を始動

お客さまに心地良くお買い物をしていただくとともに、従業員にとって、「働きやすく、やりがいのある」仕事へ変革するため、ワークスタイルプロジェクトを始動。接客販売を中心に「仕事の仕方」を見直し、女性・若手をはじめ、すべての従業員が日々、お客さまの立場で考え、行動しています。



接客販売を中心に仕事の仕方を改善

■多様な働き方を可能とすることで「出産・育児・介護」を支援



【出産・育児支援ハンドブック】

妊娠中の勤務や出産後の復職などの各種支援制度をまとめたハンドブックを作成しているほか、育児休職中の従業員には先輩ママとの座談会や復職に向けたオリエンテーションを開催。2014年には子育てサポートの認定「くるみんマーク」を取得しています。また、看護や介護に関する支援制度の活用もサポートするなど多様な働き方を推進しています。

5

取り組み

ともに取り組むエシカル社会

「みんなのやさしさ、つなぎたい。」というメッセージのもと3つの社会貢献に取り組んでいます。

■植樹・育樹活動

お客さまにご協力いただきながら、森林再生と地域振興につながる植樹・育樹活動に積極的に取り組んでいます。

プレゼントギフトをご注文いただく際、リーフマスコット付きリボンを100円(税込)でご購入いただくと、1件につき50円の寄付ができ、80件で1本の植樹につながる「Present Tree(プレゼントツリー)」。プレゼントツリーとは、「森づくりが必要な土地に木を植え、森林再生と地域振興につなげる」プロジェクトのことで、西武・そごうは同プロジェクトに賛同してお客さま参加型の植樹・育樹活動を推進しています。

2016年6月には、社員ボランティアが岩手県宮古市での植樹活動に参加し、お客さまのやさしさがこもった苗木を一本一本丁寧に植えました。宮古市は東日本大震災で漁業が甚大な被害を受けましたが、今後、森が育んだ水が川から海へと注ぎ込むことで豊かな漁場を育ててくれることが期待されています。



地球環境を想うラッピング「グリーンラッピング」。お中元やお歳暮ギフトの簡易包装(4,000件で1本)や食品フロアでのレジ袋ご辞退(1万枚で1本)でも実施しています。



CLOSE UP

2009年9月から
2016年8月までに

9,775本の
植樹につながりました

■ 途上国支援活動

CLOSE UP

2009年9月から
2016年8月までに

62万3,428足の

靴をお客さまから
お預かりしました

お客さまからお預かりしたご使用にならなくなった子ども靴を、ザンビアの子どもたちに贈る活動を推進しています。



西武・そごうは、公益財団法人ジョイセフが推進している「途上国の妊産婦の命と健康を守る『ホワイトリボン運動』」に賛同しています。その一環として、全店に「子ども靴下取りコーナー」を常設し、使わなくなった子ども靴1点につき、子ども服売場での買い上げ価格5,000円(税込)ごとに1枚ご使用いただける「500円割引券」とお引き換えしています。

お客さまからお預かりした子ども靴は、公益財団法人ジョイセフを通じて、アフリカ「ザンビア共和国」の子どもたちに届けられ、子どもの足を寄生虫病や破傷風から守っています*。また、この活動は、子どもたちやご両親に「健康の大切さ」を伝える教育ツールとしても大きな役割を果たしています。



そのほかにも全店のベビー休憩室に寄付金付きの飲料自動販売機を設置しているほか、「ホワイトリボンピンバッジ」を製作・販売し、ザンビアの妊婦が保健施設近隣で事前宿泊できる施設をつくらせている「マタニティハウスプロジェクト」に寄付しています。

*この活動は、(株)商船三井さま、セイノスーパーエクスプレス(株)さまから協力いただいています。

■ 盲導犬育成支援活動

CLOSE UP

2003年3月から
2016年8月までに

5億1,278万2,869円の

募金を寄付しました

盲導犬の育成支援に取り組むとともに、盲導犬・視覚に障がいのある方に対するご理解を広める活動をしています。

西武・そごうの全店舗に盲導犬形の募金箱を設置し、お客さまのご協力のもと盲導犬の育成を支援しています。また、定期的に「国際盲導犬の日(4月最終水曜日)」や「ほじょ犬の日(5月22日)」などに、募金活動も実施しています。

さらに、社内でも「そごう・西武基金」を設立し、従業員が任意で毎月の給与から自動引落で積み立てている「ワン!コイン倶楽部」の募金も組み入れ、全国の盲導犬育成団体に寄付しています。加えて、視覚に障がいのある方や盲導犬ユーザーの方に安心してお買い物を楽しんでいただけるよう、従業員を対象とした「盲導犬受入れセミナー」も開催しています。



全店で年2回春と秋に開催している「盲導犬ふれあいキャンペーン」や、授業の一環として小・中学校に出向いて行う「盲導犬学校キャラバン」では、盲導犬との体験歩行やふれあいタイムなどを通じて、視覚に障がいのある方と盲導犬へのご理解を深めていただいています。



会社概要

代表取締役社長 林 拓二

従業員数 9,323人(2016年2月末)

売上高 7,907億円(2016年2月期)

店舗数 21店(2016年10月1日現在)

【西武店舗】

池袋本店 渋谷店 船橋店 所沢店 筑波店

東戸塚店 高槻店 八尾店 大津店 福井店

岡崎店 秋田店 小田原店

【そごう店舗】

横浜店 千葉店 神戸店 広島店 大宮店

川口店 西神店 徳島店

法人外商部

ご要望に合わせてソリューションを提供

法人外商部は、法人・団体さまのご要望や課題に対して、幅広い商材や、小売で培ったノウハウとネットワークを駆使して、より最適なソリューションをご提供しています。

セールス
プロモーション

ユニフォーム

ギフト・
記念品

防災用品

包材・資材

災害に備える「防災ソリューション」

「防災士」の資格を有する従業員が、必要な防災用品の選定から保管方法、賞味期限管理までをトータルにご提案しています。

また、災害対策本部の設置ノウハウや避難生活時の衛生管理の仕方など、あらゆるニーズに対応いたします。



法人外商部のお問い合わせ先

電話番号 03-6272-7531 FAX 03-6272-7539 URL <http://www.sogo-seibu.co.jp/gaisho/>

西武・そごうはこれからも
人と人、人と地球を笑顔で
つないでいきます。

